

のげやま

第126号
野毛山幼稚園
横浜市西区老松町30
TEL.045-231-0150

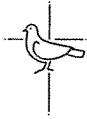
平和、ポケットに入れて持って絶対になくさない 忘れぬ

野毛山キリストの教会牧師 奈良昌人
野毛山幼稚園園長

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」
(マタイによる福音書5章9節)

第1学期の終業を無事に迎えることができず、これを神さまに感謝いたします。これまでには、速さで夏を迎え、6月23日(木)にプール開きをして、子どもたちは水遊びをたくさん楽しんできました。その子どもたちと過ごして、案ずることは、ウクライナの子どもたちのことです。同じ時を生きている子どもたちですが、おとなたちが起こした戦争の恐怖の中で育つこと、その後の人生にどんな影響を与えるのかと、心配しています。

今年5月15日(日)、本土復帰50周年を迎えた沖縄で、去る6月23日(木)は、沖縄戦から77年目の「沖縄全戦没者慰霊の日」でした。この日、糸満市の平和記念公園で行われた追悼式で、沖縄市立山内小学校2年生の徳元穂菜さん(7歳)が読んだ自作の詩が、胸に突き刺さりました。



「こわいをして、へいわがわかった」
おびつじしいよちやんへお出あけ
いっしょにやんみんお出あけ
おびつじしいよちやんへお出あけ
いっしょにやんみんお出あけ

こわくさく赤ん坊の泣き声、
たぐさく赤ん坊の泣き声、
おとあもかんなが、
おとあもかんなが、
おとあもかんなが、

おとあもかんなが、
おとあもかんなが、
おとあもかんなが、
おとあもかんなが、
おとあもかんなが、

おとあもかんなが、
おとあもかんなが、
おとあもかんなが、
おとあもかんなが、
おとあもかんなが、

おとあもかんなが、
おとあもかんなが、
おとあもかんなが、
おとあもかんなが、
おとあもかんなが、

伝えのお母さん自身は戦争を知らなくても、
徳菜さんには平和を伝えること、
今、私たちが平和を尊ぶことが大切だ、
さ、平和の子供たち、
ラ、戦争の怖さ、
も、戦いの怖さ、
葉、争いの怖さ、
じ、胸が痛い、
と、胸が痛い、
い、胸が痛い、
大、胸が痛い、
の、胸が痛い、
柳、胸が痛い、
目、胸が痛い、
して、胸が痛い、
や、胸が痛い、
で、胸が痛い、
平、胸が痛い、
去、胸が痛い、
こ、胸が痛い、
れ、胸が痛い、
の、胸が痛い、
人、胸が痛い、
ベ、胸が痛い、
た、胸が痛い、
平、胸が痛い、
な、胸が痛い、